

令和５年度刈谷市スポーツ推進審議会 議事録

1 日時及び場所

令和6年3月28日（木）13時30分～15時00分

刈谷市役所 3階 301会議室

2 出席した委員 永田靖章、竹内晋岸、辻村享、鈴木裕子、清水貞光、佐野吉則、二宮美香、山口博子、加藤文子（以上、敬称略）

欠席した委員 三宅正光（以上、敬称略）

3 事務局 教育長（途中退席）、スポーツ振興監兼スポーツ課長、課長補佐、業務係長、指導係長、普及係長、普及係担当者2名

4 議 事

議題1 第3次刈谷市スポーツマスタープランの取り組みの評価について

－資料1－①・②・③

議題2 第3次刈谷市スポーツマスタープランに係る中間アンケート調査結果について

－資料2、資料2別紙

5 議事内容

議事進行：永田会長、説明者：普及係長、業務係長、指導係長

議題1 第3次刈谷市スポーツマスタープランの取り組みの評価について

【事務局】資料1－①・②・③を説明

【山口委員】朝日スポーツクラブの活動では、活動場所である朝日中学校に今までは除湿器が備わっており、快適に活動できていた。例えば卓球では、日によって床が滑る時などは除湿器を付けることにより、滑らないよう安全に配慮しながら活動していた。除湿器は無料で使用できたため、指導者や参加者から要望があれば毎回使用していたが、令和6年4月からエアコン管理に変更となり、使用する際はすべて有料化となる。また、夏の暑さ対策としてもエアコンは必要となってくる。こうなった場合、同じように床がすべる時など、今までのように毎回空調を付けるとクラブの経営的に厳しくなってしまうので、ケースバイケースで使用団体によって無料化を検討してほしい。どこの総合型スポーツクラブも同じ考えである。

広報活動については、現在、市民だよりにクラブの情報を掲載しており、引き続きお願いしたい。理由としては、近年刈谷市にマンションが増えており、新しく転入してきた若い世代への情報発信手段として効果的だと考えるからである。

ホームタウンパートナーの選手をクラブの講師として派遣いただくことについては、先日、朝日スポーツクラブもジェイテクト Stingers（男子バドミントン）の選手に来ていただき、参加者もとても喜んでいて、今後も継続してほしい。

【会長】難しい要望もあったが、事務局で検討いただきたい。他に意見はないか。

【清水委員】レクリエーション協会の加盟団体において、以前、学校開放の予約はそれぞれの加盟団体の代表者が各学校の校長先生に利用日を伝え、直接予約を取っていた。そのため、予約も取りやすく、また、利用日の情報も各クラブでしっかり共有できていた。しかし、現在は一般の方も含め自由に予約が取れるようになり、希望する利用者が多いと抽選し、利用月の前月にならないと予約が確定しない。そのため、各クラブのスケジュールが立てにくい上に、活動場所が減り、中には継続困難となるクラブも出てきた。事務局にはぜひ予約方法の見直しを検討いただきたい。

【会長】活動場所は学校だけではない。他の体育施設、市民館など様々である。活動場所のキャパシティは決まっているため、関連施設をそれぞれの活動主体が探すことが必要である。例えばスポーツをする場合、河川敷の使用の検討や、ウォーキングをする場合は公園などで活動してもよい。ただ、現在、レクリエーション協会の加盟団体のように苦労している団体があることは確かなので、今後、調査を実施する際には、市民のニーズをしっかりと聞き取り、反映させていく必要がある。事務局の考えはどうか。

【事務局】令和3年度に、現在の予約案内システムによる抽選に切り替えた。経緯としては、以前の予約方法では学校の負担が大きいため、学校スポーツ開放の業務を学校から切り離した。それに伴い、運営委員会も廃止している。現在、スポーツ課が学校開放の業務を担当しているが、先ほどの話にあった予約がなかなか取れない状況などは聞いており、課題として認識している。そのため、まずは令和6年度より予約期間を延長（令和5年度まで：利用月の前月10日まで→令和6年度以降：利用月の前月15日まで）するなど、課題解決に向けて改善を進めている。

【会長】利用団体は広い視野を持って、活動する施設を検討いただき、事務局は必要に応じて支援いただきたい。
他に意見はないか。

【佐野委員】資料1－②施策（3）の参考数値で、平成29年度が最新となっており、令和5年度実施したアンケート結果が欄外に記載されているが、この間の実績はないということか。

【事務局】スポーツマスタープランの策定や改定に合わせて実施しているアンケート項目であるため、そのとおりである。

【会長】様々なご意見をいただいたが、事務局で実施可能な範囲で改善をいただきたい。
他に意見がなければ議題1は以上とする。

議題2 第3次刈谷市スポーツマスタープランに係る中間アンケート調査結果について

【事務局】資料2、資料2－別紙を説明

【会長】今回のアンケートでは、市民のスポーツをめぐる行動について踏み込んで分析を行った。また、第4次スポーツマスタープラン策定に向けて、より市民のニーズを捉えることができると考える。
何か意見、質問はあるか。

【辻村委員】調査結果（小学生）の問4（P110）の部活動がなくなった場合、学校以外にスポ

ーツを続けていきたいかの回答結果で、「続けていきたい」「どちらかといえば続けていきたい」の数値が多いのか少ないのか分からないが、以前、全国の小中学生の体力測定の結果が悪くなっており、刈谷市においても結果が落ちていると伺ったことがある。部活動がなくなると、益々体力が落ち、スポーツをしなくなる子どもが増えることが不安である。学校の先生の負担も分かるが、この状況をどのように考えるか。

【会長】100%全員がスポーツを好きになることが理想だが、現実には厳しい。少しでもスポーツ好きを多くしていく努力が大切なのである。アンケート結果を見ると、「続けていきたい」「どちらかといえば続けていきたい」をまとめると、約7割弱が続けていきたいと思っている。この結果が多いのか少ないのかということであるが、約7割あればよいのではないかと考える。

問題は、部活動がなくなった後の受け皿をどうしていくかである。

【佐野委員】子どもの体力について、愛知県は他県に比べて非常に低い結果が出ているが、これは母数が他県に比べて多いことが要因である。そのため、単純な数値比較ではなく、母数を加味した数値で比較をしないと正確な比較ができているとはいえない。

部活動の廃止において、県内市町村の中にはすでに部活動を廃止した市町もあり、運動をする機会が体育の授業のみとなってしまう子どもが増えている。各学校で体育の授業をいかにして充実させるのか、試行錯誤して取り組んでいると聞いている。

【会長】他に意見はないか。

【鈴木委員】調査結果（一般）の問3（P13）の回答で、「自宅、近隣道路・公園などで暇を見つけて自由に活動している」とあるが、具体的には何をしているか。

【会長】ウォーキングやジョギングなどではないか。

【鈴木委員】先ほど意見に出た問4（P110）で、「続けたい」「どちらかといえば続けていきたい」と回答した人は、部活動がなくなったら具体的にどのスポーツを続けたいのか。今部活動で行っているスポーツを続けたいのか、それとも何か別のスポーツを見つけ続けるのか、このあたりがはっきりしない。部活動で行っていたスポーツを続けた場合、そもそも続ける機会がなくなる。部活動というスポーツをする入口がなくなると、子どもたちはどのように運動（スポーツ）をしていくのか。今はウォーキングやeスポーツもスポーツと位置付けられているが、この考えでは子どもの体力は今後落ちていく一方だと考える。小さいときから、総合型スポーツクラブのようなスポーツをするきっかけを周知していくことが重要になってくるのではないかと考える。

【山口委員】総合型スポーツクラブで最近よく聞くのが、夫婦共働きが増え、送り迎えが大変でクラブをやめる人がとても多い。クラブの講座時間はだいたい18時からが多いため、働く母親にとっては忙しい時間であり、入会を躊躇する人もいる。

【清水委員】レクリエーション協会の中にユニホッケーを行っている団体があるが、学校の授業の中でユニホッケーを実施し、興味を持った子どもにクラブに入会してもらおうという勧誘方法を実施している。現在、入会している子どもは20名程度いる。ただ、子どもが増えると活動場所や指導者の人数の問題もあるので、そのあたりの検討は必要だと考えている。

【事務局】鈴木委員のご質問にありました、部活動の廃止後、子どもたちはどこで運動をするのかについて、昨年度スポーツ課で市内の小学5年生に対して、部活動以外の習い事に関するアンケート調査を実施したところ、約7割近くがすでに習い事している結果であった。さらに、その習い事をしていると回答した人にどれだけの数のクラブがあるか尋ねたところ、サッカーは40（市外含む）クラブ、バスケットボールでは32クラブ（市外含む）あり、比較的多い状況が分かった。ただ、スポーツの種類は様々なので、スポーツ少年団や先ほど話にも出た総合型スポーツクラブを含め、周知を図っていく。

【佐野委員】P61の高校生の調査で、住んでいる地区は刈谷市外が最も多いが、刈谷市内の高校に通学している生徒を対象に実施したといことで間違いはないか。

【事務局】そのとおりである。

【会長】他に意見がなければ議題2は以上とする。

その他

【会長】その他について、何かあればこの場で発言をお願いしたい。

【辻村委員】2点発言したい。1点目は、令和6年1月に厚生労働省より「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」が出されている。厚生労働省のホームページにも掲載されているので参考にしてほしい。

2点目は、先ほど、有料化になったため、熱い中で冷房が使えないという意見があったが、熱中症等も心配されるので、全額でなくてもある程度行政が支援し、利用者の負担を減らす措置をしてほしいと思う。

【二宮委員】スポーツ推進委員では、学校の放課後子ども教室などで、今まではボッチャなどのスポーツを行っていたが、昨年度から新たに「忍者ランド」という小さい子から大きい子まで一緒に遊べる道具を持って伺っている。児童クラブと協力して楽しめる環境を作っているが、部活動がなくなるのはやはり寂しい。

【加藤委員】子どもが様々なスポーツに参加できるようになればいいと思う。

【事務局】事務局から報告させていただく。来年度の4月1日から、スポーツ課にアジア・アジアパラ競技大会推進係を設置する。この係では、市民の皆様自身に大会に参加していると感じてもらえるよう、2026年の開催に向けて機運醸成、シティドレッシング、刈谷市を訪れる方に対するおもてなしなどを検討していく。

【 閉 会 】